

びふか
議会です

こんにちは。

2017年5月号
北海道／美深町議会



世界に羽ばたけ未来のアスリート

平成29年度北海道卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)

第1回定例会～補正予算・条例改正ほか～ 2～3

平成29年度予算審査 予算審査特別委員会… 4～8

ここが聞きたい 一般質問に
3氏登壇 …… 9～11

委員会レポート …… 12

第101号

この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

R100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



議会広報データ <http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/cms/section/gikai/index.html>

平成29年第1回定例会

チヨウザメ養殖施設設着工

新年度予算

量産体制確立が課題

平成29年第1回定例会は、3月3日から16日までの日程で開かれ、新年度予算7件、平成28年度補正予算案4件、条例改正案6件、その他1件が提出された。新年度予算は予算特別委員会に付託され審議が行われた。

条例改正

美深町税条例

職員の育児休業等に関する条例

地方税等の一部を改正する法律及び社会保障の安定財源の確保を図るため、地方税法及び地方交付税法の一部改正に伴う改正。

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う改正。

原案可決〔全員賛成〕

原案可決〔全員賛成〕

農業G主幹 成委構
員は、美深町長、副町長、JA北はるか代表理事組合長、農業委員会会長



期待される新規就農者

美深町新規就農者等に関する条例

新規就農者や独立・規模拡大者就農に対し、の農業経営の安定定着を促進するため改正。

質問 単身者就農も可能となるが、就農計画認定委員会の構成メンバーと審査基準の判断は。

審査のポイントは資金計画、労働力の確保、地域の協力体制が重要となり、単身者の就農は労働力の確保が優先である。

質問者 南・齊藤議員
原案可決〔全員賛成〕

美深町給水条例

中央簡易水道事業区の拡張に伴い、営農用に使用する受益戸数が増加となるため、北部簡易水道事業区域内の受益農家との均衡を図るよう農業用料金を定める改正。

原案可決〔全員賛成〕

水道住宅G主幹 水道 各組合から、年間の使用水量を提出していただき、用途に応じて基礎の水量から算出。

最大水量は、各組合からの報告と聞き取り調査を実施、把握している。

質問者 南議員
原案可決〔全員賛成〕

介護保険法の一部を改正する法律に伴う改正。

原案可決〔全員賛成〕

美深町介護保険条例

介護保険法施行令の一部改正に伴う改正。

原案可決〔全員賛成〕

補正予算

末を控え業務確定によるものが主な補正。

一般会計及び特別会計4本の補正。一般会計ではアスペクト調査費の追加、業務確定による減額など、最終的には4317万円の減額補正。

質問 アスベスト調査費は、どのよう
うな施設が対象となる
のか。また、過去の調
査で出来なかつたのか。
新年度予算ではなく
補正の対象とした経緯
は。

質問 地域おこし協力隊の採用に至らなかつたのは、チヨウザメ担当予定者ではなかつたのか。

A meal consisting of a bowl of rice topped with beef curry, a small bowl of chips, and a carton of milk on a teal tray.



カレーライス

The image shows a meal on a green surface. In the foreground, there's a white bowl filled with ramen, featuring wide, flat noodles, pieces of meat, and vegetables. Next to it is a smaller white bowl containing a clear miso soup with visible green onions and small pieces of meat. In the background, a bottle of Suntory Tenjiku Sake stands next to a white plate holding a single, large, pale dumpling or piece of bread.



牛井

子供たちに好評な 提供されている給食

補正前の額	補正額	補正後の額
50億 9491万円	△4317万円	50億 5174万円
総務費	アスベスト調査委託料	1700万円
	恩根内線バス路線運行維持事業補助金	△171万円
民生費	障害者介護給付・訓練等給付費	283万円
土木費	橋梁長寿命化工事	△554万円
教育費	美高卒業生奨学金基金積立金	100万円
	学校給食費食材費	△220万円



高値で売却された特殊車両 〔ユニモグ〕

質問 約220万円減額が補正となつてゐるが理由は何か。

総務G主幹

質問 物品販売収入における消防の公売車両が123万円で売却できたが、ネット競売を利用すればもう少し高く売れたのではないか。

企画G主幹として交渉して人選をしたが、確保には至らなかつた。平成29年度に実現できるよう準備している。

保険福祉G主幹
の入居 特養

学校給食センター長 予算と実績との差で減額となつたが、給食内容は予定通り提供している。

小口和田語錄

現任
保険福祉G主幹
満床と
なつており、待機者は
33名程度。

者について、計画では町内の方を50名見込んでいたが、10名が町外の対象者となつており減額となつた。

[一般会計のなかみ]
町民1人あたり
このように
使われます。

平成29年3月31日現在 人口4,531人

一般会計総額
48億1400万円
町民1人あたり
約**106万円**

総合計画
第1章

予算審査特別委員会

3月14日・15日の2日間、平成29年度一般会計及び特別会計、事業会計が審査され、原案通り「可決すべきもの」と決した。



中野勇治予算審査特別委員長

総務課長を推進するのか。
CO₂排出抑制は大事なこと。地域、町の財政状況を鑑みながら継続的に実施していくけるものが必要であると考える。

新エネルギー事業 普及事業を毎質問

自然環境と調和する
安全・安心なまち 「美深」

普及事業を毎年予算に挙げていたが今年は計上がない。予算を持たないで普及活動を推進するのか。

公営
住宅長
建設水道課長
寿命化によって交付金
対象の幅が広がる。計
画に位置付ければ、改
修の対象となる特公債
住宅及び公営住宅等の
長寿命化を立てる考え方。

質問
橋りょうの長寿命化計画の進捗及び公営住宅長寿命化計画の策定見直しは。

質問 移住推進に向
けで美深町どし
て住宅の販売まで考え
なければならぬのか。
総務課長 住宅を購
入すること
によつて長く美深町に
住んでいただけのこと
が可能と考えた。

移住推進事業

特に市街地の除排雪についての考え方、及び機械整備の考え方を伺う。

建設水道課長 うがいいのか、今までの予算でいいのか再度協議させていただきたい。機械の運用は全車委託先に貸し出す方向。除雪専門の管理者を含めながら、色々な部分で利用していく。

託となる。機動班の今後の体制は。



市街地も民間委託へ

生活環境G主幹
成団助

有害鳥獸捕獲等事業

質問 補助対象になつてゐる獵友会は何団体あり、補助しているのか。女性ハンターの養成はどのように考へてゐるか。

交通安全

総務G主幹　入所者や
実際に
利用者がいる福祉施設
の避難をどうするのか、
具体的に施設の方と話
をしている。

防災体制強化事業

〔質問者〕長岐・藤原・
南・荒川・諸岡・小口
委員)

生活環境G主幹
深警



総合計画
第2章

資源をいかす
活力に満ちたまち 「美深」

チヨウザメ振興事業

年 チヨウザ

質問 昨年チヨウザ
メ振興室が庁舎
内に設置されたが、位
置づけと将来の機構は。

総務課長 振興室は各課横断のプロジェクトとしての意味で職員間の共通認識を持つ位置づけ。当面は課を設置するといふ考えはない。

質問　　チョウザメ振興のための人材確保をいかに図るか。

企画G主幹　　専門性を備えた地域おこし協力隊員の確保を図っていきたい。

質問　　町民への理解を深める手法は。

また平成32年度黒字化の根拠、及び戦略は。

企画G主幹　　民間対象の事業説明及び試食会を行い理解を深めていき

これまでの取り組みとの違いは、観光としての取り組み方は。

総務課長　立ち上げは行政だが、従来から民間養殖業者も交えた北大水産学部との推進会議を行つて、量産体制が確立した後、町内飲食店で提供を進める。

ア生産が重要で高品質
キャビア採卵品種の養
殖に取り組み、高級木
テルとの連携を図る。
質問
題はないか。町
行政主導に課
民との関わりが見えて
こない。

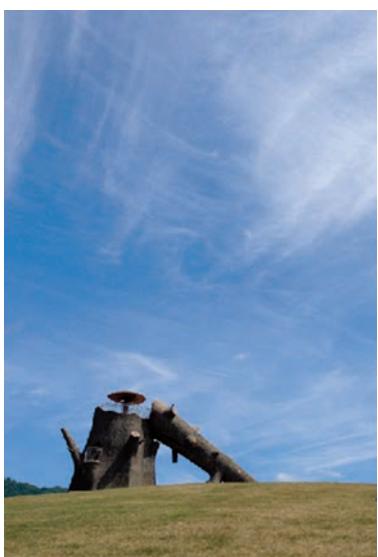
うたまち 「美深」

総務課長 取り崩す。 質問 アイランドタ 整備基金を 公共施設 至る経過とその後の対 応は。

充てるので平成29年度
取り崩しはない。

× 基金の取り崩しはあるのか。
総務課長 道の認可には申請から1年かかるため今年9月頃には下りることを期待したい。
基金は施設運営費に

のモデルとして、軌道に乗れば視察や教育分野で人の流入が生まれることを期待したい。



解体されるアイランドタワー

資源をいかす 活力に満ちたまち「美深」		総合計画 第2章
チヨウザメ振興事業	昨年チヨウザメ振興室が庁舎内に設置されたが、位置づけと将来の機構は。	質問 内に設置されたが、位置づけと将来の機構は。
総務課長	振興室は各課横断のプロジェクトとしての意味で職員間の共通認識を持つ位置づけ。当面は課を設置するという考えはない。	質問 プロジェクトとしての意味で職員間の共通認識を持つ位置づけ。当面は課を設置するという考えはない。
チヨウザメ振興のための人材確保をいかに図るか。	チヨウザメ振興のための人材確保をいかに図るか。	質問 意味で職員間の共通認識を持つ位置づけ。当面は課を設置するという考えはない。
企画G主幹	専門性を備えた地域おこし協力隊員の確保を図っていきたい。	質問 専門性を備えた地域おこし協力隊員の確保を図っていきたい。
企画G主幹	町民への理解を深める手法は、また平成32年度黒字化の根拠、及び戦略は。	質問 町民への理解を深める手法は、また平成32年度黒字化の根拠、及び戦略は。
総務課長	立ち上げは行政だが従来から民間養殖業者も交えた北大水産学部との推進会議を行っている。量産体制が確立した後、町内飲食店で提供を進める。	質問 これまでの取り組み方は。
近々町民対象の事業説明及び試食会を行い理解を深めていき	これまでの取り組みとの違いは。観光としての取り組み方は。	質問 これまでの取り組みとの違いは。観光としての取り組み方は。
企画G主幹	まず産業として確立させ、「まち・ひと・しごと」創生総合戦略	質問 まず産業として確立させ、「まち・ひと・しごと」創生総合戦略

のモデルとして、軌道に乗れば観察や教育分野で人の流入が生まれることを期待したい。
事業開始するには水利権取得が必要だがいつ頃になるのか。またチョウザメ基金の取り崩しはあるのか。

質問

総務課長 道の認可には申請から1年かかるため今年9月頃には下りることを期待したい。

基金は施設運営費に充てるので平成29年度取り崩しはない。

質問 アイランド改修工事の財源措置の内、その他の財源とは何か。

総務課長 取り崩す。

質問 アイルランドタワー解体工事に至る経過とその後の対応は。



総合計画
第4章

暮らせるまち「美深」

美深厚生病院運営支援

消防費
1億9553万円

町長 近隣市町村含め、わが町においても病院の赤字対策や医師不足は将来的な課題。

増額要因には、機器類の修理費や固定医不足のため派遣医師にかかる経費の増加がある。

ついて、昨年よりも補助額が6千3百万円の増額だが算定の根拠は何か。

らに厳しくなると予想するが努力していく。

國民健康保險

質問　国保は制度改正により平成30年度に道へ移行されるが、現行の保険税への影響はどの程度か。町民への周知説明が必要では。

保健師等養成修学金

はで説明したい
税額については、仮
算定だが10%程度上げ
なくてはならない結果
が出ており、激変緩和
措置で5%まで圧縮で
きるとされている。
道が移行に向け仮算
定中である。



健康相談を受ける保健師

目指す事業だが、今年度の実績は。

保健福祉 G 副主幹

年度実績では看護師が2名、一時金の貸付が1名となつてゐる。

質問

北大水産学部との連携で今後の方向性は、企画G主幹 平成27年から北 大生の実習受け入れを実施しているが、北大としては地域の実情を見ながら実習したいという要望があり、当面は様子を見て取り組んでいきたい。

総合計画
第5章

みんなでつくる
心かようまち 「美深」

町全体の公共施設の一つとして必要性を考えると優先度は高い。

いるが、改築等の計画はあるのか。早期具体化していく考えは。



特別養護老人ホーム

職員給与費
7億6724万円



町民1人あたり
169,331円

一般会計総額
48億1400万円
町民1人あたり
約**106万円**

平成29年3月31日現在 人口4,531人

[一般会計のなかみ]
町民1人あたり
このように
使われます。

質問 今回予算では減額があるが、様々な活動や事業に対する支援として活性化を妨げるものになるのでは。

副町長 評価のためも一定程度実施していくと見直しの不十分さなど慣れが生じる。改善が必要では。

事務事業評価 質問 事業においては補正で対応していく

公平性を保つ公募や入札なり、関係する機関が納得できる手順も必要だったのではないか。

度は当 初から大きな事業の計 企画G副主幹 昨年

諸岡委員 質問者 岩崎・藤原・

地域活性化促進事業

画があり臨時に増額していた。今回は事業終了に伴い、元に戻ったもの。

活性化に必要な事業に対し、なるべく多くの補助金を活用してほしい。

美深高校パンフレット



向き合うことを諦めない

今回の美高下宿確保対策交付金に係る事業において

質問

念頭において進めたい。

た

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

い

う

な

く

一般質問

町政のここのが聞きたい



岩崎泰好 議員

- ① 美深町2世紀目のまちづくりをどのように加速させるのか
町政執行方針を問う
② 平成29年度教育行政執行方針を問う

質問 安心して住み
続けられる持続
可能な町のありように
意を配し、喫緊の課題
解決にとどまらず20年、
30年、あるいは50年後
の美深町の姿を描きな
がらまちづくりの推進
を図り、子供たちや孫
世代に引き継いでいく
ことも重要な視点。美
深町2世紀目のまちづ
くりをどのように加速
させるのか、平成29年
度の執行方針について
考え方を町長に伺う。

③ 埋立処分場の運用と
生ごみ処理施設の老朽
化、どのような手法と
仕組みで問題を解決し
ていこうとしているの
か。
④ 公的病院としての美
深厚生病院の将来のあ
り方についての考え方
と、町民の意見反映と
信頼性の回復について、
どのような協議と具体
策が話し合われ、そし

①省エネルギー活動や
新エネルギー活動の活
用により、どのような
循環型社会を目指して
いるのか。
②廃棄物の減量化、再
資源化の推進に具体的
な数値目標と係る経費
の削減目標を立て、実
現していく考えはある
のか。
③埋立処分場の運用と
生ごみ処理施設の老朽
化、どのような手法と
仕組みで問題を解決し
ていこうとしているの
か。

一般廃棄物の広域化
に向けての基本計画で
は、将来の見通し量に
沿った減量化、再資源
化が進むよう努力して

て改善への方向が見込
まれる今回の予算措置
と成り得たのか。

町長

街灯のLED化や中学校の太
陽光発電の導入を進め
てきた。

今後の公共施設にお
ける新エネルギーの導
入計画は、現時点では
白紙だが、一般家庭に
おける太陽光発電等の
新エネルギー導入を継
続的に支援し町民の環
境意識の向上を図り省
エネルギー活動や新工
ネルギーの利用を推進
していく。

いく必要がある。町民
への啓発に努めていく。
生ごみの処理を行っ
ている炭化センターは、
平成16年度の開設施設
であり、現在12年が経
過し、老朽化が進んで
おり早い時期に本施設
の更新を考える必要が
出てくるという状況。
美深厚生病院につい
ては引き続き、町民か
らの意見反映や厚生連
本部との従前にも増し
た協議を進めながら支
けられることにしな
ければならないとも考
えている。

このほか1項目、「
教育行政執行方針」
について質問。



普及してきた家庭用太陽光パネル

厚生病院への予算、 改善の方針は 従前に増した協議、 将来のあり方も

援を継続し、地域の身
近な医療体制の確保に
努めていく。短期的な
対応に加えて、将来的
なあり方についても協
議を進めることにしな
ければならないとも考
えている。

① 「新しい人の流れ、新しい交流のかたち」について



長岐和彦議員

問

交流についてビジョン・コンセプト・プランを具体化していくべきではないか

答

ビジョンをどうするか等は個別の考え方がある

町長 指摘は非常に大事なことだと考へている。10月以降の改善した取り組み方で1400人、3000万円の寄付があり、返礼品5割、経費2割で考へている。寄付者には年賀状など季節ごとの便りを出している。

教育長 寄付の目的に沿う形で計画を実行していくことは大切。寄付された方に形として返すのか、交流としてどうつなげていくのかという視点は関係を築いていく中で形づくっていくことが大切である。

質問 交流は、訪れる、訪れないにかかわらず、なんらかの形で地域に影響を与えていくことであるが、ふるさと納税は交流の新しい形ではないか。返礼品だけでなく、人の流れに結び付ける方法を考えていなか。

教育長 エアリアルの海外視察と外国チームの合宿誘致が本格始動している。町にどのような影響があるか。

質問 寄付により意義ある交流に行きつくのかどうか、考へていかなければならぬ。



多様化する交流には資源の応用と計画性が必要になる

たちが一流選手を間近で見ることでスポーツに対する向上心に良い影響を与える。選手やスタッフの滞在により地域経済にも影響がある。

質問 新しい人の流れ、新しい交流のかたちに関するビジョンを策定し、経済活性化、社会の活性化、住民の活性化をコンセプトとして、関係する事業プランを具体化していくべきではないか。

町長 町づくりの視点の中で、大事な柱建てとしては分かれから進める英語教育のコミュニケーション能力向上のための課題に対応できるようになりたい。組み立て方、現実の対応の問題としてアシュクラフト村に限らず、いろんな思いをどう汲み上げていくかである。現場での対応を含めて

質問 32年までに組み立てられるかわからない。子供たちのための環境をつくっていく中で、結果として活用があるかもしれません。検討を始めた中で考へていかなければならぬ。

教育長 アシュクラフト村とはこのように影響がある。これから進める英語教育のコミュニケーション能力向上のための課題に対応できるようになりたい。ただ、組み立て方、現実の対応の問題としてアシュクラフト村に限らず、等は個別の考え方がある。

一般質問 町政のこころが聞きたい



藤原芳幸 議員

- ① 高齢者支援
- ② 地域交流の推進
- ③ ごみ減量化

改正道路交通法
(75歳以上の高齢者)
免許更新時や一定の違反から認知症の疑いがある場合、臨時適性検査（医師の診断）を受けなければならない。認知症と診断されれば免許取り消しとなる。

町長 移動手段としてフレンドバスなどや買物支援の高齢者支援があり、交通の空白地帯を作らない取り組みをしている。

質問 全国で高齢者による運転操作ミスの事故が多発している。美深町の住民も大丈夫とは言えない。免許返納希望者や更新できなかつた方への支援策が必要ではないか。

質問 3月12日に改正道路交通法が執行された。これにより、75歳以上の方の運転免許更新が厳しくなった。現行の高齢者支援も有効だが、運転をやめた方のニーズを調査し検討を加えていく必要があるのでないか。

答 支援できるよう検討したい

問 免許を手放しても不安のない環境に

武四郎物語で地域交流の推進を

答 流域と連携し事業展開を考えたい



活用が期待される松浦武四郎記念碑

町長 天塩川流域自治体は関心が高く、道と連携しながら準備を進めている。

質問 平成30年、幕末に蝦夷地探査をした松浦武四郎の生誕200年、北海道命名150年を迎える。道も事業を考える中、美深町はどんな取り組みをするのか。

質問 天塩川流域は北海道の命名のきっかけになった地であり、武四郎が残した記録は物語性に富んでいて興味を搔き立てる。帳面に筆で記録を書き残した武四郎にちなんだ記念碑がわが町にある。この題材を取り上げ、町内外へ広く発信してはいかがか。

教育長 教育委員会としても関わっていく考え方だが、周辺地域、関係機関との連携を取りながら進めていきたい。

このほか1項目、「ごみ減量化」について質問。

美深町は平成30年が開拓120年の年でもあり、記念事業と合わせて、何ができるか検討する。COM100郷土資料室のリニューアルに合わせて取り上げたい思いはある。平成30年度に向けて総合的に判断し、準備したい。

総務住民常任委員会

調査のまとめ



今後の計画が待たれるSUN21

調査日
平成29年1月27日

②計画の期間を平成28年度から平成67年度の40年間とし、5年を基本に必要に応じ見直しを行う。

①平成28年5月に「美深町公共施設等総合管理計画」を策定し、公施設等の適正管理を進めていく。

③役場庁舎については現段階では改修計画はないが、昭和37年に建築した古い部分については改修を考えている。
④SUN21に入つて役場庁舎改修時に合わせ庁舎内に併設する考えを含め進めていきた
いと考える。

⑤地域コミセンについては、地域の意向を含め考え方を尊重し対応する。
⑥学校施設については、小学校・中学校は大規模改修・改築が終了しているが、今後仁宇布方向性によって、検討し考えていきたい。
⑦アスベストについて、公共施設のうち集合煙突のある建物は50施設あり、早い時期に調査を行い対応していく。
今後は、公共施設等総合管理計画を踏まえ、具体的な施策を策定し進めて行く方向性が示されたが、大規模の改修・改築を行う為の財源確保を考えると、当面は難しいが、必要な物については財源を確保する努力が必要と思われる。

調査事項
築40年以上の公共施設について

①公共施設の改修・改築計画について
②今後の方向性について

築40年以上の公共施設について

築40年以上の公共施設について
①公共施設の改修・改築計画について
②今後の方向性について

築40年以上の公共施設について
改修・改築状況について
68施設（総数377施設）の建築年度及び主な改修内容
50万円以上の行政・普通・水道財産の説明を受けた。

産業教育常任委員会

調査のまとめ

題	①美深農業の現状と課題
調査の内容	美深農業・林業の現状と課題

調査日
平成29年2月13日

調査事項
『がんばる美深農業！』の具体的な支援事業の内容・支援の実績・今後の取り組みを調査するもの

調査の内容
②美深林業の現状と課題

題	①美深農業の現状と課題
調査の内容	②美深林業の現状と課題

先に全体予算があることによる上限設定となつておらず、満足度の訴求も求められている。事業効果を最大限に活かすには、町、農業者、JA等関係機関とのより綿密な連携が求められる。

本支援事業は寒冷地土地利用型作物を中心におづくり・生産力向上・品質向上を目指す取組みに対し支援を行ない、利用実績にも裏打ちされているように、美深町農業に有効な事業と考える。

しかし、対象農家においては基準となる耕作面積に達していないことや、申請を見送る事例あつたが、利用率が高く意欲も見られるところから、今後の事業効果に期待するところである。

事業効果を最大限に活かすには、町、農業者、JA等関係機関とのより綿密な連携が求めら

②美深林業の現状と課題

木質バイオマス事業は林業の活性化と循環型社会の構築を目指す事業の一つであり、びふか温泉では平成27年度から事業が開始されている。

の活用が最も有効であり普及に力点を置く必要がある。



特産化進む南瓜（昨秋の東大生農業体験）

議会の動き・予定

2/24	全員協議会
3/1	議会運営委員会
3/3～16	第1回定例会
3/3	本会議
3/6	議会運営委員会
3/13	一般質問
3/14	予算審査特別委員会
3/15	予算審査特別委員会
3/15	議会運営委員会
3/16	本会議 議案審議
3/16	議会広報特別委員会
4/10～12	議会運営委員会道外視察
4/19	議会広報特別委員会
5/9	産業教育常任委員会 所管事務調査
5/10	総務住民常任委員会 所管事務調査
5/10	議会広報特別委員会

訂正して お詫び申し上げます

議会広報2月号(NO.100)
11ページ「旭日双光章受章」
の記事でお名前の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

【記載】

授章者 園部幹夫さん
↓

【訂正】

授章者 園部幹雄さん

道内大手事業所からの需要の減少に伴う生産量の減少など町産材の活用面では、まだ多くの課題があるものの、豊富な森林資源は製材

度から事業が開始され

ふか温泉では平成27年度から事業が開始されている。

バイオマス事業は林業の活性化に向けた有効な取り組みであり、継続すべき事業だが、恩根内市街地バイオマス計画変更の教訓を次

産業推進体制の充実を目的としている。

町議会活性化の取り組みについて学びました

議会運営委員会

先進地視察調査を行つた。

- 山形県朝日町
- ①会議時の迅速な対応とペーパーレス化を図るため、スマートフォンやタブレット端末機の議場への持ち込みを可能とした。



朝日町議会

調査内容

平成29年4月10日～12日

②議会報告会や懇談会等で聴取した町民要望を所管の常任委員会において、内容を精査し「予算編成に向けた意見書」として本会議の中で可決後、直ちに議場で町長に手渡ししている。

①予算特別委員会の設置を常設していることにより、当初予算に限らず、補正予算も予算特別委員会で審議する。

②本会議の状況を町民に提供するためにインターネットによる配信システムを導入している。



川西町議会

③町民との意見交換を開催し、問題整理、分析、提言を立案して、町長への政策提言を実施している。政策提言の一年後には、評価検証を実施している。

なお、両町議会とも広報・広聴委員に係る委員会は、常任委員会であった。



私たちのメッセージ

4月から美深町で働く新社会人の
お二人からメッセージを
いただきました。



消防士としての自覚

大光寺

魁

私は名寄高校を卒業し、美深消防署に就職しました。高校生になつたときに、公務員の就職を考えており、消防士になりたいというのは高校二年生になり思つていました。

美深消防署からの募集があり受けて採用を

いただき、自分の夢が一つ叶いました。

仕事は始まりました。が、未だに、学生気分が抜けず社会人としての自覚も完全に持てたわけではありませんが、生活を見直しハメを外しそうないよう心掛け行動していきたいで

す。町や職場、色々な看板を背負っていますので恥じぬよう、今までのことをして貢献していくたいです。いまは分からぬことばかりですが、しっかりと知識を身に付けて一日でも早く一人前の



消防士になれるよう、上司の方を見習いこれからもがんばっていきたいです。

新しいスタート

大嶋 美那

委員長 藤原芳幸
副委員長 長嶋和彦
委員 中野勇治
委員 南和博
委員 荒川賢一
委員 和田健

私は美深町で生まれ、小学校、中学校、高校を美深町で卒業しました。

この度、私は美深町でJJA北はるかに就職することになりました。社会人になるにあたつて、自分にお仕事が務まるのか、不安な気持

ちがありました。ですが、職場のみなさんが何も分からぬ私に、一から丁寧に教えてくださるので、今では不安な気持ちがなくなり、毎日たくさんのこと学んでいます。どんな時も、「明るく・笑顔で・元気に」を忘れず、

仕事に励みたいと思ひます。働き始めて、お仕事をする上で挨拶とコミュニケーションの大切さを改めて実感しています。また、今までとは違い、責任感の大きさを感じています。小さなミスも職場全体のミ

スに繋がってしまうので、ひとつひとつの仕事を責任を持ち、少しでも早くみんなの役に立てるよう頑張りたいと思います。

私は、日頃からお世話をなつていて両親に感謝の気持ちを忘れず、恩返ししていくたいです。そして、生まれ育った美深町に少しでも貢献できるよう、日々努力していきたいと思います。

編集後記